

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伝統野菜(坂井芋)生産・販売量アップ事業
事業主体 (連絡先)	木島里芋研究会 TEL・FAX 0269-69-2055
事業区分	(6) イ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,732,600円(うち支援金:2,060,000円)

事業内容

- ・坂井芋は粘りと食味の良さから需要が高まり、収量アップと生産拡大が課題。特に平成30年には干ばつにより大減収したことから、収量の安定化と収量アップを目標に掲げ、突き井戸を6ヵ所掘削。ポンプの配管設備も6月に設置して定期的な灌水を行うことで、芋の肥大促進と収量アップを図った。
- ・坂井芋パンフレットを作成し、販売店を通じて坂井芋の魅力を伝えるため情報発信を行った。
- ・木島小学校6年生に対し、地域の伝統野菜「坂井芋」を知ってもらうため、技術指導(種芋植え、収穫等)や販売体験を通して、交流活動を行った。



【木島小学校6年生との交流】

【目標・ねらい】

- ① 坂井芋の出荷の増加
- ② 坂井芋の販売の増加
- ③ 知名度向上による販路拡大
- ④ ブランドづくりに向けた取り組み

事業効果

- ・坂井芋の出荷・販売量の増加
前年度対比(R2)5%増 1,544ケース(1ケース10kg)
- ・直売所などを通じて坂井芋の魅力を発信し、知名度のアップが図れた。
- ・地域に伝わる、伝統野菜の坂井芋を次世代の子供達に伝えることができた。

※自己評価【B】

【理由】

目標出荷量には至らなかったが、出荷量は前年対比5%増。メディアでの宣伝回数も増え、今後の消費拡大を含めた波及効果が期待できる。

今後の取り組み

- ・特徴ある伝統野菜の坂井芋をパンフレット活用を含めてPR活動を継続し、販売促進を図る。
- ・突き井戸の有効活用と灌水タイミングの共有により、全体の収量アップを目指す。
- ・生産者の輪を広げ、品質統一活動を継続し、高位安定価格を目指す。
- ・更なる知名度をアップさせるための活動をすすめる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある